

ウールマーク品質基準

品質基準 AW-1 : 2016

平織り、パイル織り 圧縮フェルトのアパレル製品

製品

ウールマーク、ウールマークブレンド、またはウールブレンドのロゴは、以下の平織り生地から作られた製品に適用される。

- コート（チョッキを含む）
- スーツ（ジャケットとスラックス）
- スラックス
- ドレス
- 着物
- ナイトウェア（ガウンを除く）
- アクセサリー（帽子、ショール、スカーフ、手袋、ネクタイ）
- ジャケット
- コスチューム（ジャケットとスカート）
- スカート
- ガウン
- シャツおよびブラウス

圧縮フェルト、パイル衣類シェル、またはパイル織地

これらの製品には、ウールマーク・ロゴだけが適用される。ウールマークブレンドおよびウールブレンド・ロゴは使用しない。

アクセサリー

帽子、ショール、スカーフ、手袋、ネクタイ以外のアクセサリの適合性については、Woolmark Management Group が決定を下す。

品質基準

- ウールマークブレンドおよびウールブレンド・ブランド製品の品質基準は、記載されている場合を除き、ウールマーク・ブランドと同じである。
- **取扱表示**：製品の取扱表示（言葉またはシンボル）が「ドライクリーニング」および「手洗い」の両方である場合、その製品は両方の表示要件を満たさなければならない。
- 品質基準で使用される「ブレンド」という用語には、ウールマークブレンドとウールブレンドの両方が含まれる。

すべての製品

特性	試験方法	平織りまたは圧縮フェルト製品			編パイル製品
		合格基準			
		1 スーツ スラックス	2 コート ジャケット コスチューム スカート ドレス 着物 ガウン アクセサリ	3 シャツ ブラウス ナイトウェア	4 衣類シェル
ウール混用率（以上）	155	ウールマーク ウールマークブレンド ウールブレンド	100% 50% 30%	新毛 100% 品質基準 F-5 品質基準 F-7	ウールマーク ブレンドとウ ールブレンド には適用され ない
縫製品質	288	著しい外観変化がないこと			
表面パイル質量 (g/m ² : 以上)	15	-			220
引張強さ 経・緯 (N : 以上)	4	196 (>150g/m ²) 177 (≤150g/m ²)	98	147	なし
耐光堅牢度 (級 : 以上) ナイトウェアには適用されない 未染色、漂白製品を除く	5	標準濃度の 1/12 より暗い色 4 標準濃度の 1/12 より明るい色、または同じ色 3 鮮やかなパステルカラー 標準濃度の 1/12 より暗い色 3 標準濃度の 1/12 より明るい色、または同じ色 2-3			
摩擦堅牢度：乾（以上） 淡色を除く	165	3-4			

- この表は、必ず下記の注と併せて読むこと。

注

- ウールマーク TM155 : 羊毛混用率**
ウールマーク製品の羊毛混用率は、品質基準 F-1～F-4 に完全に記載されている。
ウールマークブレンド製品の羊毛混用率は、品質基準 F-5 に完全に記載されている。
ウールブレンド製品の羊毛混用率は、品質基準 F-7 に完全に記載されている。
すべてのパイル製品には、ピュアウールパイルが含まなければならないが、裏当ての材料は、別の材料から製造されたものでもよい。
- ウールマーク TM288 : 衣類外観**
軽度の欠点がある二級品がザ・ウールマーク・カンパニーによって試験可能と判断された場合は、この試験は行わない。
- ウールマーク TM15 : 表面パイル質量**
この特性は、パイル製品でのみ測定される。
- ウールマーク TM04 : 引張強さ**
経緯の両方向で品質基準を満たさなければならない。
引っ張り強さの測定は、アクセサリには要求されない。
- ウールマーク TM5 : 耐光堅牢度**
 - 未染色・漂白製品については評価しない。
耐光堅牢性の品質基準は、ナイトウェアには適用されない。
 - オーストラリアおよび南アフリカで販売される製品では、耐光堅牢度のブルー基準級は、標準濃度の 1/3 より暗い色については 5 級、標準濃度の 1/3～1/12 の色については 4 級が要求される。
 - 天然色の羊毛 :

そのような羊毛は、耐光堅牢度が低い可能性がある。ただし、以下の（または類似の）テキストを札に記載すれば、製品にウールマークまたはウールマークブレンドを表記することができる。

「天然色の羊毛の特徴として、色あせることがあります。」

5.4. 鮮やかな色、パステルカラー：

ザ・ウールマーク・カンパニーの濃度参照カードに記載された濃度（鮮やかなパステルカラー）および以下明度での中間階調だけが含まれる。その他の色相は、Woolmark Management Group の事前承認を得ない限り、明るいパステル色相に分類されない。明るいパステル色相を示すが要求される耐光堅牢性を満たさない製品は、Woolmark Management Group に提出して評価を受けることができる。Woolmark Management Group は、独自の色が使われている場合、耐光堅牢性の低い色相を承認する可能性がある。

6. TM165：染色堅牢度

標準濃度の 1/12 よりも色が薄い製品には、この試験は必要ない。

7. スーツおよびコスチューム

さまざまな生地から作られた構成要素。個々の構成要素は、別個の衣類として取り扱い、適切な品質基準に従って評価しなければならない。

「ドライクリーニングのみ」の取扱表示がある製品

特性	試験方法	平織りまたは圧縮フェルト製品			編パイル製品
		合格基準			
		1 スーツ スラックス	2 コート ジャケット コスチューム スカート ドレス 着物 ガウン アクセサリ	3 シャツ ブラウス ナイトウェ ア	4 衣類シェル
寸法変化率（%：以下）経・緯	ISO 3175	-3% < DC < 3%			
サイクル数		3 x ISO3175 標準または CDT			
ドライクリーニング後の外観	281	著しい外観変化がないこと			
耐水堅牢度（未染色、漂白製品を除く）	6				
変退色（級：以上）		3-4			
羊毛汚染（級：以上）		3			
綿汚染（級：以上）		3			
他繊維汚染（級：以上）		3（ブレンドのみ）			なし

- この表は、必ず下記の注と併せて読むこと。

注

1. ISO 3175:ドライクリーニング時の寸法安定性

- ISO 3175 標準試験用の装置を使用できない場合は、商業ドライクリーニング試験（CDT）3 サイクルが適切な代替法となる。
- すべての寸法安定性試験について。「縮み」はマイナス値(-)によって表され、「伸び」はプラス値(+)によって表される。
- 3% < DC < 3%は、縮みが3%未満、伸びが3%未満でなければならないことを示す。

ドライクリーニング後の外観

ドライクリーニング後の衣類外観は、ウールマーク「TM281：織物生地および衣類の洗濯後の外観」の条件に従って格付けされる。

2. ウールマーク TWC-TM6：耐水堅牢度

未染色の漂白製品については評価しない。

「他繊維汚染」は、隣接する生地の中で最もひどく汚染した繊維として定義され、ウールマークブレンドのみに要求される。

「手洗い」、または「手洗いまたはドライクリーニング」の取扱表示がある製品

特性	試験方法	平織りまたは圧縮フェルト製品			編パイル製品
		合格基準			
		1 スーツ スラックス	2 コート ジャケット コスチューム スカート ドレス 着物 ガウン アクセサリ	3 シャツ ブラウス ナイトウェア	4 衣類シェル
寸法変化率－緩和	31				
巾		-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC
長さ)		-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC
洗濯サイクルの回数およびタイプ		1 x 7A	1 x 7A	1 x 7A	1 x 7A
寸法変化率－フェルト	31				
巾		-	-	-	-
丈 エッジ差		-1 < DC < +1	-1 < DC < +1	-1 < DC < +1	-1 < DC < +1
洗濯サイクルの回数およびタイプ		1 x 7A	1 x 7A	1 x 5A	1 x 7A
寸法変化率－合計	31				
巾		-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC
丈		-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC
手洗い堅牢度（未染色、漂白製品を除く）	250	単色を除く			
変退色（級：以上）		3-4			
羊毛汚染（級：以上）		4			
他繊維汚染（級：以上）		3~4（ブレンドのみ）			なし
湿潤アルカリ堅牢度（単色を除く）	174	単色を除く			
変退色（級：以上）		3-4			
羊毛汚染（級：以上）		4			
他繊維汚染（級：以上）		3~4（ブレンドのみ）			なし

- この表は、必ず下記の注と併せて読むこと。

注

- ウールマーク **TM31**:寸法安定性
-3 < DC は洗濯に対して製品が3%以上縮んではならないことを示す。
-1 < DC < +1は製品が1%以上伸びてはならず、また1%以上縮んではならないことを示す。
- ウールマーク **TWC TM-250** : 手洗い堅牢度
未染色の漂白製品については評価しない。
「他繊維汚染」は、隣接する生地の中で最もひどく汚染した繊維として定義される。
- ウールマーク **TM174** : 湿潤アルカリ堅牢度
単色を除く。

「洗濯機洗い」の取扱表示がある製品

特性	試験方法	平織りまたは圧縮フェルト製品			編パイル製品
		合格基準			
		1 スーツ スラックス	2 コート ジャケット コスチューム スカート ドレス 着物 ガウン アクセサリ	3 シャツ ブラウス ナイトウェア	4 衣類シェル
寸法変化率－緩和	31				
巾		-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC
丈		-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC
洗濯サイクルの回数およびタイプ		1 x 7A	1 x 7A	1 x 7A	1 x 7A
寸法変化率－フェルト	31				
巾		-	-	-	-
丈		-	-	-	-
袖口の収縮差		-1 < DC < +1	-1 < DC < +1	-1 < DC < +1	-1 < DC < +1
洗濯サイクルの回数およびタイプ		3 x 5A	3 x 5A	5 x 5A	3 x 5A
寸法変化率－合計	31				
巾		-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC
丈		-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC
洗濯後の外観変化	31				
生地なめらかさ (級: 以上)				4	
縫い目なめらかさ (級: 以上)				4	
洗濯サイクルの回数およびタイプ				1 x 7A	
洗濯機洗い堅牢度 (A法、B法とも)	193				
変退色 (級: 以上)				3-4	
羊毛およびナイロン汚染 (級: 以上)				4	
他繊維汚染 (級: 以上)				3-4	
湿潤アルカリ堅牢度 (単色を除く)	174				
変退色 (級: 以上)				3-4	
羊毛およびナイロン汚染 (級: 以上)				4	
他繊維汚染 (級: 以上)				3-4	

- この表は、必ず下記の注と併せて読むこと。

注

1. ウールマーク TM31 : 寸法安定性

-3 < DC は洗濯に対して製品が 3%以上縮んではならないことを示す。

-1 < DC < +1 は製品が 1%以上伸びてはならず、また 1%以上縮んではならないことを示す。

アクセサリ (帽子、ショールなど) については、1 x 7A + 1 x 5A 洗濯サイクルのみでよい。

洗濯後の外観

ウールマーク TWC-TM31 に規定されたとおり、アイロン後に評価を行う。製品は、生地に関連する外観保持性条件に加え、消費者苦情となるような衣類装飾品に関する問題を呈してはならない (ベルト装飾品からのブリードがない、ジッパーが機能する、ボタンが緩まない、ベルト通しが外れたり歪んだりしないなど)。

2. ウールマーク TM193 : 洗濯機洗い堅牢度

本試験は、2つの部分に分かれている。

パート A : 過ホウ酸塩の入っていない標準的な洗剤

パート B : 過ホウ酸塩入りの標準的な洗剤

両試験方法を実施し、両方の結果を報告しなければならない。

製品がパート B では不合格であったが、パート A には合格した場合、追加のラベル要件を厳密

に守り、洗濯で漂白剤を含む洗剤を使用する場合に発生しうる問題を防止しなければならない。

この場合、衣類に添付するすべてのラベルおよび札に、以下の表記を行わなければならない。

「ウールマーク承認洗剤を使用して洗濯すること」 (またはこれに類似する内容)。これらの追加要件の詳細は、ザ・ウールマーク・カンパニーから入手できる。

未染色・漂白製品については評価しない。

3. ウールマーク **TM174**：湿潤アルカリ堅牢度
品質基準は、単色を除く製品に適用される。

「洗濯機洗いおよびタンブル乾燥」または「トータル・イージーケア」の取扱表示がある製品

特性	試験方法	平織りまたは圧縮フェルト製品			編パイル製品
		合格基準			
		1 スーツ スラックス	2 コート、ジャケット コスチューム スカート、ドレス 着物 ガウン アクセサリ	3 シャツ ブラウス ナイトウェア	4 衣類シェル
寸法変化率－緩和	31				
巾		-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC
丈		-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC
洗濯サイクルの回数およびタイプ		1 x [7A + TD]	1 x [7A + TD]	1 x [7A + TD]	1 x [7A + TD]
寸法変化率－フェルト	31				
巾		-	-	-	-
丈		-	-	-	-
エッジ差		-1 < DC < +1	-1 < DC < +1	-1 < DC < +1	-1 < DC < +1
洗濯サイクルの回数およびタイプ		5 x [5A + TD]	5 x [5A + TD]	5 x [5A + TD]	5 x [5A + TD]
寸法変化率－合計	31				
巾		-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC
丈		-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC	-3 < DC
洗濯後の外観変化	31				
生地なめらかさ（級：以上）				4	
縫い目なめらかさ（級：以上）				4	
洗濯および乾燥サイクルの回数と種類				1 x [7A + TD]	
洗濯機洗い堅牢度（A法、B法とも）	193				
変退色（級：以上）				3-4	
羊毛およびナイロン汚染（級：以上）				4	
他繊維汚染（級：以上）			3-4		
湿潤アルカリ堅牢度（単色を除く）	174				
変退色（級：以上）				3-4	
羊毛およびナイロン汚染（級：以上）				4	
他繊維汚染（級：以上）			3-4		

- この表は、必ず下記の注と併せて読むこと。

注

1. ウールマーク **TM31**：寸法安定性

-3 < DC は洗濯に対して製品が 3%以上縮んではならないことを示す。

-1 < DC < +1 は製品が 1%以上伸びてはならず、また 1%以上縮んではならないことを示す。

アクセサリ（帽子、ショール、スカーフ、手袋、ネクタイなど）については、1 x [7A+TD] + 1 x [5A+TD]洗濯サイクルのみでよい。

洗濯および乾燥後の外観

アイロン後に評価を実施する。製品は、生地に関連する外観保持性条件に加え、消費者苦情となるような衣類装飾品に関する問題を呈してはならない（ベルト装飾品からのブリードがない、ジッパーが機能する、ボタンが緩まない、ベルト通しが外れたり歪んだりしないなど）。

2. ウールマーク **TM193**：洗濯機洗い堅牢度

本試験は、2つの部分に分かれている。

パート A：過ホウ酸塩の入っていない標準的な洗剤

パート B：過ホウ酸塩入りの標準的な洗剤

両試験方法を実施し、両方の結果を報告しなければならない。

未染色・漂白製品については評価しない。

「他繊維汚染」は、隣接する生地の中で最もひどく汚染した繊維として定義される。

製品がパート B では不合格であったが、パート A には合格した場合、追加のラベル要件を厳密に守り、洗濯で漂白剤を含む洗剤を使用する場合に発生しうる問題を防止しなければならない。この場合、衣類に添付するすべてのラベルおよび札に、以下の表記を行わなければならない。「ウ

ールマーク承認洗剤を使用して洗濯すること」（またはこれに類似する内容）。これらの追加要件の詳細は、ザ・ウールマーク・カンパニーから入手できる。

3. ウールマーク TM174：湿潤アルカリ堅牢度

単色を除く製品に適用される。

テストアンドレポート基準

提供された試料に対して**試験すべきだ**が合否条件は定められていない特性は、以下のとおりである。

- 耐摩耗性
- 縫い目スリップ
- ピリング傾向

ライセンシーは、適切な方法に応じてすべての試料を試験し、結果を顧客に報告する。製品がガイドライン性能水準に達しなかった場合は、ウールマーク管理者がライセンシーに強調しなければならない。

要請があった場合、ザ・ウールマーク・カンパニーは、コンサルティングに関する通常の商業的取り決めの下で、契約製品の性能を向上させるための助言と支援をライセンシーに提供することができる。

特定の生地を承認または拒否する決定は、生地の製造者と顧客との合意に基づく。ザ・ウールマーク・カンパニーは、そのような問題を巡って両者の仲裁を行うことはない。

特性	試験方法	平織りまたは圧縮フェルト製品			編パイル製品
		ガイドライン性能レベル			
		1 スーツ スラックス	2 コート ジャケット コスチューム、 スカート ドレス 着物 ガウン アクセサリ	3 シャツ ブラウス ナイトウエ ア	4 衣類シエル
摩耗（× 10 ³ 回：以上）	112	20	10	15	10
縫目滑脱（mm 幅：以下）	117	6	10	6	10
ピリング	196				

注

1. アクセサリー

アクセサリーには、試験およびレポートの測定値は必ずしも適用されない。

2. ウールマークTM112：摩耗強さ

生地の耐摩耗性は、多くの要因に関連しており（繊維の細さ、糸の番手、糸のタイプ、織り方など）、摩耗には多くの側面があるため、着用時の生地の摩耗状況を試験結果と関連づけることは困難である。個別試験では、生地の摩耗寿命を正確に予測することはできず、特定の生地について以前の経験と比較することしかできない。ただし、生地は、ウールマーク TWC-TM112 に従って試験しなければならず、上記の表に記載されたガイドライン性能を達成することを推奨する。

3. ウールマーク TM117：縫い目スリップ

特殊な縫製技術によって縫い目スリップを減らせることが確認されている。ただし、生地は、ウールマーク TWC-TM117 に従って試験しなければならず、上記の表に記載されたガイドライン性能を達成することを推奨する。

4. ウールマーク TM196：ピリング傾向

多くの要素がピリングに影響を及ぼすため、生地の使用中に毛玉ができる傾向を正確に予測する一般的な試験方法は認められていない。ただし、生地は、ウールマーク TWC-TM196 に従って試

験しなければならない。

備考

衣類のピリングは、非常に差が激しい。ある生地を同じ状況で別の人が着用した場合のピリング傾向は、大きく異なる場合がある。さらに、許容範囲も個人間で異なる。ザ・ウールマーク・カンパニーのピリング試験は、大部分の生地のピリング特性を示すシンプルな方法である。ただし、ピリングは一定期間後に評価されるため、必ずしも実際の生地間の差を比較して表したものではない。ピリングは変動の大きい特性であり、ピリングの進行速度は時間や着用状況によって異なる。ピリングの傾向に影響を及ぼす最も重要な要素には、繊維直径、繊維長、糸の撚りの度合い、生地の構造などがある。